



米子市長年頭記者会見資料

令和5年1月4日

担当課
(担当者)

秘書広報課
矢飼

電話 (0859) 23-5271

報道機関 各位

令和5年 米子市の主要な動き

「歩いて楽しいまちづくり」

1 「歩いて楽しいまちづくり」の実現に向けた取り組み

米子市が目指す「歩いて楽しいまちづくり」。

「車中心」から「公共交通」と「歩行者中心」の空間へと転換し、人々が集い・憩い・多様な活動を繰り広げられる場へ生まれ変わらせることを目指します。

これを実現するため、ウォーカブル推進事業をはじめ、JR米子駅周辺の整備、公共交通の利便性向上、かわまちづくりの推進、海岸線の活用、公共空間の規制緩和、街灯や歩道的美装化、官民でのウォーキング推進などに取り組みつつ、ここに集う人々が「歩いて楽しい」を実感できる街を作ります。

■JR米子駅南北自由通路（がいなロード）、駅南広場の供用開始

- ・交通結節点としての機能強化による都市交通の円滑化や、駅南地区の利便性の向上につなげます。
- ・供用が開始される8月には第50回の節目を迎える、米子がいな祭が開催されます。そのほかJR米子駅のリニューアルに合わせ、様々なイベントを計画しています。

■米子駅周辺地区・角盤町周辺地区まちなかウォーカブル推進事業

これまで測量、設計を行っていた道路・公園の工事を開始します。商業エリアを生かし、駅・商業施設・商店街を中心とした歩行者の回遊ネットワークを形成し、居心地が良く歩いて楽しい環境づくりを進め、にぎわいの創出を図ります。

■商店街の賑わい創出

- ・本通り商店街のアーケード撤去、下水道の敷設を計画しています。空き店舗のテナント出店などが期待され、今後のにぎわい創出の可能性が拡大されます。
- ・商店街エリアを中心に、飲食イベントが毎月開催されるなど、商店街の活性化や、出店機会の拡大に資する取り組みが行われています。引き続き民間事業者を後押しし、周辺エリアの活性化につなげていきます。

■中海・錦海かわまちづくり計画

米子港護岸の開発により中心市街地・城下町エリアにウォーターフロントを創出します。駐車場・広場・トイレの整備、市道の改良を今後予定しています。

裏面をご覧ください

■だんだんバス

現在、従来コースとは別に、新規2コースによる試験運行を行っています。今後、実証結果を踏まえコースを決定するなど、中心市街地における交通利便性の向上を図ります。

■米子城跡の活用

ダイヤモンド大山をはじめ、米子城跡を年間を通して楽しめるコンテンツとして活用します。来訪者の満足度向上を図るため、米子城跡三の丸広場やトイレの整備など環境整備を進めます。

■山陰歴史館

米子城のガイドンス機能などを充実させ、周辺エリア一体で散策が楽しめるよう利活用を検討していきます。今後、バリアフリーの整備を行っていきます。

■皆生みらいの灯り推進事業

皆生温泉街の街灯を暖色に統一します。今年3月に工事が完了する予定です。そぞろ歩きを楽しめる環境を整備し、温泉地の魅力を一層向上させます。

2 新しい施設の誕生や設備・インフラ整備

魅力的で質の高い施設づくりを進め、市民サービスの一層の向上を図っていきます。

■米子市役所糺町庁舎の開所

県・市の土木建築担当課が新庁舎に配置されます。また、米子市役所に県税事務所を受け入れ、県と市の税務担当課を隣接配置する予定です。行政事務の効率化や行政サービスの向上につながります。

■新総合体育館の公募開始

令和8年度の供用開始に向けて、令和5年度に事業者を公募する予定です。年齢や障がいの有無に関わらずスポーツに親しめたり、防災拠点としての機能を備える予定です。

■安倍三柳線（第2工区）の工事着手

産業道路から国道431号線までの区間（第2工区）の工事に着手する予定です。

■学校・保育施設等の整備

- ・令和7年4月に開園を予定している東保育園の建て替えに着手します。本市として初の幼保小連携型の施設となります。
- ・学校校庭の芝生化を推進していきます。
- ・市内全公民館のWi-Fi整備を令和5年3月に完了する予定です。

3 その他、本年進める取り組み

- ・教育支援センター「ぷらっとホーム」、スクールソーシャルワーカーの活用
- ・フレイル対策 など